

Town Gallery

TOWN GALLERY



奥津湖が望めます

—奥津—

河内地内に奥津湖総合案内所「みずのさと郷奥津湖」が完成。2月8日（火）、旧奥津町の光永町長をはじめ、国・県・工事関係者ら約80人が参加し、完成記念式が行われました。

みずの郷奥津湖は、木造平屋建てで、物販・飲食ゾーンと展示ゾーンがあり延べ面積810.67平方メートル。他に公衆トイレ・機械

設備などの付帯設備棟があり、施設からは奥津湖を望むことができます。

一般公開となるグランドオープンは3月19日（土）です。みなさんのお越しをお待ちしております。

竹スキーを体験

—上齋原—

2月、上齋原の地域おこしグループ“どうする会”が主催し、「親子で体験冬のツアー」が開催されました。

メインは、青竹を割って曲げただけの竹スキー。ちょっとだけ昔の上齋の子の冬遊びでした。いざ滑ってみるとこれが意外に難しい！さすがに子どもたちはすぐにスイスイとシュプールを描いていましたが、大人達は……。でも負けてはならんと童心に返って何度も挑戦していました。



長巻き寿司に挑戦

—富—

2月18日、余川地区一福会のメンバー40人が長巻き寿司に挑戦しました。

一福会は余川地区のお年寄りの集まりで毎月一回集まり、ゲートボールやビンゴ、輪投げなどのゲームや食事会などを行い地域の人たちとの交流を深めています。

今回、メンバーの提案で初めてのことに挑戦してみようと、富地域内では初となる長巻き寿司に挑戦することになりました。お米を2升炊き、巻きすのうえに海苔、すし飯、5種類の具を順にのせ、長巻き寿司に挑戦。

1本の長さが2mを超える長巻き寿司が出来ました。



おいしいそばが作れたよ

—富—

2月18日、富小学校3・4年生10人と地域の10人が協力してそば打ちを体験しました。

児童たちは2人組で、ねり鉢の中のそば粉に慎重にお湯を加えてまぜていき、耳たぶほどの柔らかさになるまで、強く生地をこねていきました。伸ばし作業では麺棒を使ってそば生地を薄く均等にしようと、一生懸命頑張っていました。

生地が出来上がり、包丁で切っていきます。このそば切りがもっとも緊張する作業です。細いものから太いものと様々で、それぞれの味が出ていました。

この日は、およそ1時間ほどでそばが出来上がり、児童や先生、そして参加者は打ちたてのそばをおいしそうに食べていました。

